

BCEM

カーボンマネジメント
支援ツール



Bizen Green Energy

BCEMとは

カーボンマネジメントを支援するツールです。
各団体が管理する建物の温室効果ガス排出状況を毎月入力することで、年間排出量の集計・予測・レポート作成等ができる、温室効果ガス排出量の一元管理システムです。

できること

建物別・分類別の年間の温室効果ガス排出状況が予測・把握できる

毎月エネルギー使用量を入力すると、CO2換算された排出量が自動で計算され、年間の積算排出量や目標に対する予測値をグラフで確認することができます。
(あらかじめ排出係数などの入力が必要です。)

分類ごとの管理担当者を設定できる

全体管理者は建物分類ごとに管理担当者を設定し、個別に上がった報告を確認・集計することができます。

集計単位をカスタマイズできる

建物分類（事務所、商業施設、インフラ施設など）を自由に設定し、分類ごとに確認・集計することができます。

年度レポートの作成ができる

入力したデータをもとに全体の年度レポートが簡単に作成でき、レポートごとに配布されるURLを使用して外部機関にレポートの提示ができます。

インターネットブラウザでどこからでもアクセスが可能

BCEMのプログラムはインストール不要です。インターネットブラウザからいつでもどこでも情報へのアクセスが可能です。
また直感的操作が可能なインターフェースで簡単に入力ができます。

建物	年度											
建物	2017											
温室効果ガス	対象となる排出活動/区分	単位	温室効果ガス(詳細)	電力会社	内容							
HFC	家庭用電気冷蔵庫	kgHFC	HFC-125	---								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
10	30	50	60	30	20	20	10	10	10	20	20	
<input type="button" value="新規登録"/> <input type="button" value="クリア"/>												
温室効果ガス	対象となる排出活動/区分	単位	温室効果ガス(詳細)	電力会社	内容	処理						
CO2_燃料	屋外買電	KWh	CO2	(株)エネット								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1,000.0	2,000.0	2,500.0	5,000.0	5,000.0	4,000.0	2,000.0	1,000.0	3,000.0	5,000.0	5,000.0	3,000.0	<input type="button" value="更新"/>
HFC	家庭用電気冷蔵庫	kgHFC	HFC-125									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
10.0	30.0	50.0	60.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	<input type="button" value="更新"/>

必要な環境

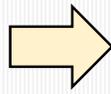
パソコン
(インターネットへの接続が必要)
管理者はCSVデータの作成、編集が可能なソフトなど



作業イメージ

団体（事業者全体）の管理者

ネットからBCEMにログイン。
建物や年度目標の設定を行う。



上がってきた報告、集計を確認。
温室効果ガス排出状況を確認し、
必要に応じて対策を行う。



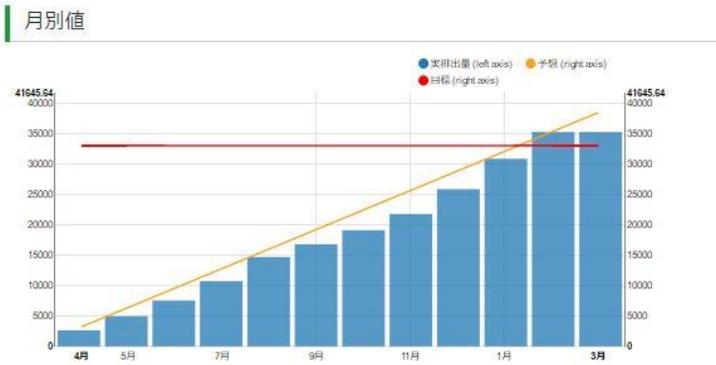
各施設の管理担当者

ネットからBCEMにログイン。
各施設の活動量（電気、燃料
等の使用量）を入力。



温室効果ガス排出量の表示

- 各月の排出量を積上グラフで表示し、目標に対してどうなっているか、この先どうなるかが分かるようになります。
- 建物別、分類別で表示できます。任意の分類フィルターで集計することもできます。



2017年度 テスト町 事務事業による温室効果ガス排出状況

温室効果ガス排出状況について

高効率機器へ順次更新したことによって年間目標より15%高いCO₂-CO₂を削減できた。

実施した主な取り組み

項目	内容	削減効果(tCO ₂ /年)
照明	LED化	100
空調	高効率機器に更新	500
給湯器	ボイラーに更新	1000

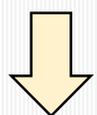
CO₂排出量の推移と内訳



温室効果ガス構成(2017年度)



CO₂燃料の内訳(2017年度)



年度末にはレポートを作成し
団体HPなどで提示。

全体のレポートを作成してURLを取得し、
外部に提示することができます。



Bizen Green Energy

Green, and more.

BCEM導入 Before⇒After

	Before（これまでの課題）	After（BCEMの場合）
1	環境部局の担当者が各施設から届くエクセルデータを集計⇒多くの工数がかかる	各施設の担当者がブラウザからデータを入力 ⇒データ集計のための工数を大幅削減
2	GHG排出量は次年度にならないとわからない	毎月のデータを入力することで、年度途中で排出状況を確認できる
3	各施設の担当者は全体のGHG排出量がわからないため、市全体での削減意識を持ってない	各施設の担当者は他施設や市全体の排出量を確認でき、当事者意識が生まれる
4	環境部局の担当者は各施設の現状を把握しにくいいため、問題が顕在化しないため対策が遅れる	計画通りGHG削減できていない施設を年度途中で把握。市全体での計画達成に向け、早い対応が可能

